

◎ 議会だより

わくや

9月会議号
2017.11.1
No.191



はじめての
産業祭

議会懇談会を開催します	23
平成 28 年度の成果は	〈決算報告〉 2
町政を問う 7 人の提言	〈一般質問〉 12
よりよい町づくりに	〈視察報告〉 22
町民の声を紹介	〈キラキラ Voice〉 24

と自主財源の確保を

経営に向けさらに努力が必要

(万円未満省略)

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
一般会計決算総額	81億9,271万円	75億6,509万円	2億7,554万円

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
特別会計決算総額	51億1,187万円	49億2,661万円	1億8,389万円

※実質収支額 = (歳入 - 歳出) - 次年度へ繰り越すべき財源

(万円未満省略)

特別会計歳入歳出決算

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業勘定	25億9,148万円	24億8,969万円	1億179万円
後期高齢者医療保険事業勘定	1億6,147万円	1億5,962万円	185万円
宅地造成事業	132万円	-	132万円
公共下水道事業	5億214万円	4億8,944万円	1,270万円
農業集落排水事業	1億3,142万円	1億2,742万円	400万円
介護保険事業勘定	17億2,403万円	16億6,043万円	6,360万円

企業会計収益的収入支出決算

会計名	収入総額	支出総額	差引額
水道事業	4億2,399万円	3億8,292万円	4,107万円
国民健康保険病院事業	20億344万円	21億3,239万円	▲1億2,895万円
老人保健施設事業	4億8,625万円	4億9,940万円	▲1,315万円
訪問看護ステーション事業	5,817万円	5,532万円	285万円

(▲はマイナス)

9月会議は、9月5日から12日の5日間で開催され、一般質問では7人の議員が11項目について町政をたどしました。平成28年度各会計決算認定について、決算審査特別委員会で審議を行い、すべての決算を認定しました。条例改正や平成29年度補正予算など、議案20件と議員発議1件を原案どおり可決しました。

国民健康保険病院事業会計については、1億2,895万円の赤字となり、これまでの累積欠損金額は10億2,814万円となりました。

平成28年度健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率

(単位%)

区分	実質赤字比率 (一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合)	連結実質赤字比率 (全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合)	実質公債費比率 (全会計の償還額が標準財政規模に占める割合)	将来負担比率 (将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合)	公営企業会計に係る資金不足比率 (資金不足の額が事業規模に占める割合)
涌谷町	-	-	11.4	75.5	-
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0	20.0
財政再建基準	20.0	30.0	35.0	-	-

すべての項目で早期健全化基準を下回っており、健全である。

平成28年度
決算

補助事業の見直し

国民健康保険病院事業は健全

決

❖ ・ ❖ 議会注目事業の成果は ❖ ・ ❖

算

健康・福祉

大崎市夜間急患センター事業
28年度では100件を超える利用があり、急病などへの安心につながった



101件 **128万円**

安心・安全

LED防犯灯設置補助金
省エネルギー対策、防犯対策の推進が図られた



100基 **210万円**

子育て・教育

籠岳白山小学校改修事業
校舎の改修が済み、本校舎での授業が開始された



4億14万円

協働のまちづくり

観光物産協会補助金
涌谷スタジアムでの夏祭り開催で、集客数アップ



1,700万円

産業の振興

多面的機能支払交付金事業
地域の共同運営により農地の環境維持が図られた



19組織 **8,337万円**

監査意見

負担金、補助金のあり方について、更なる改善を望む

監査委員 遠藤要之助
後藤 洋一

財政分析指標の推移について

実質収支比率は5.7%となり適正な範囲とされる3~5%を上回っている。実質公債費比率については、11.4%と前年度と比較し、1.3ポイント上昇しているが、早期健全化基準を下回っており、財政状況は比較的安定している。しかし、経常収支比率においては、前年より2.2ポイント改善したものの、望ましいとされる75%以下を大きく上回る94.7%であり、依然、財源が硬直化している状況にある。



一般会計及び各種特別会計について

①事務処理、執行率ともに概ね適切
不用額の適宜減額などの処理を望む。

②負担金、補助金のあり方は更なる改善を
指摘したにもかかわらず、一部を除き、改善・検討された形跡がない。

③公債権・私債権の滞納処理問題は早急に対応を
債権管理条例の活用は一向に進んでいない。関係各課で情報交換組織を立ちあげ、徴収担当を一元化するなど、検討を望む。



監査報告を読みあげる遠藤代表監査委員

④メンタルヘルスに関する病欠者が多い 対応の改善を
対応すべきシステムはあるが機能していない。ストレスチェック結果の活用、安全衛生管理者の外部委託や産業医の活用など、検討し改善を望む。

⑤眼科用機材の活用
眼科の患者増と収益増加につながると思われ、その実現を強く望む。

国民健康保険 病院事業会計

①病院新改革プランの完全実施を
収支計画数値と決算数値で、当年度純損益において計画値が未達成であり甚だ遺憾である。改革プランの完全実施と計画達成のための努力を強く望む。

②患者数確保の具体策の検討を
診療科によって患者数の回復基調が見られるが、適正な患者数の確保のために院内における十分な検討を。

③地域包括ケア病床の開設は高評価
地域包括ケア病床を9床開設したが、入院患者数の改善に寄与し病床稼働率アップにつながっている。本事業は安全な在宅生活への復帰を目指すためや、リハビリ充実への対応強化、病床稼働率アップにつながると思われる。

④繰り入れについては折衝経過の記録を
一般会計からの繰り入れについては、やむを得ないと考えるが、事務レベル、政治レベルともに繰り入れ経過の記録を残すべきと考える。

⑤補助金のあり方について、更なる検討、改善とは。

監査委員への質疑

問 補助金を受けている団体には、趣味的な団体と育成していかねばならない団体がある。それぞれ、活動内容をしっかりと把握し、適正な補助金額を算定すべきである。また、補助金は、団体がひとり立ちできるまでの支援とするのが本来の姿であり、永久に補助金を出し続けるものではない。

答 補助を受けている団体には、趣味的な団体と育成していかねばならない団体がある。それぞれ、活動内容をしっかりと把握し、適正な補助金額を算定すべきである。また、補助金は、団体がひとり立ちできるまでの支援とするのが本来の姿であり、永久に補助金を出し続けるものではない。

問 病院事業会計において、報告の中で「計画値が未達成であり甚だ遺憾」とあるが。

答 病院の改革プランについては、議員にも資料が配付されており、間接的に町民に約束したものと見える。よって、この計画は相当重く受け止めるべきものと考えられる。改善に向けて努力してもらいたい。

決算審査特別委員会



久 勉委員長

平成 28 年度の各種会計決算について、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、すべての決算を認定しました。
主な質疑と答弁を掲載します。

一般会計決算

歳入

自主財源の確保を図れ

門田 善則委員

問 財政難の中、自主財源の確保をどのように考えているのか。

答 税収を上げるために、企業誘致に力を入れている。農業だけでなく、そのほかの産業も振興していく。

歳出 総務費

ラボ 事業の検証を

竹中 弘光委員

問 まち・ひとデザインラボの事業は国からの交付金であり、制約があることは理解するが、もつと町に貢献する事業はできなかつたのか。

答 新スイーツを開発し、人的ネットワークが

決算

形成され、地域商社が立ち上げられた。

町内事業者や生産者と連携し、涌谷町の稼ぐ力の一翼を担ってくれることを期待する。

かがやく協働の

まちづくり事業

稲葉 定委員

問 3 団体（涌谷神輿保存会・黄金自治会・遠田商工会青年部）が採択され、補助を受けて事業が行われたが、成果は十分出たのか。

答 審査結果は広報、HP などに掲載しているが、各団体とも成果は十分にしている。

町民バス事業

路線見直しを

稲葉 定委員

問 現在の路線のうち、利用頻度の少ない路線については、タクシー券の

配布や、デマンド方式の導入などによって経費の圧縮を図れないか。

答 現在のところ、路線を維持して利便性の向上を考えていく方向である。



黄金山工業団地が完成。町をあげて PR していきましょう！

決算質疑

ラボ 新たな産品を

佐々木みさ子委員

問 国から多額の交付金を受けている中で、伝統野菜や新品種の2年目の試験栽培の成果は。

好評の野菜を地域の農産物として育成しては。

答 農業所得向上を目指し、新規作物6品種を作付けした。

レタスについては、研究しながら定着させていきたい。

効果的な

PR方法の検討を

鈴木 英雅委員

問 涌谷町の産物を町内外に周知し、涌谷ブランドとして多くの方々に認めてもらう手法が不足していると思われるが。

答 涌谷町は金が最初にとれた町であり、金をPRするためには砂金と体験をメインにして、プラスチックとして町の商品を販売してきた。今後も涌谷ブランドづくりに努める。

全庁で情報の共有・検証を

只野 順委員

問 涌谷町のホームページへのアクセス数が大幅に増加したとあるが、この分析を各課で共有しているのか。

答 共有はしていないが、町外への発信方法を更に検討していく。

支出額が減ったのはなぜか

なぜか

問 メンタルの不調職員が多かったにもかかわらず、時間外手当の支出が前年度より少ない。

答 時間外手当が支給されない管理職が、休職者になる。管理職の健康管理把握のためにも、時間外の状態も把握するようにしていく。

職員研修の実施 研修方法を再考しては

問 職員研修は、毎年同じ研修を行っているが、新たな研修のあり方を考えるべきと思うが。

答 今年度は大手量販店での研修などを考えている。

民生費

敬老会は地区ごとに開催を

問 敬老会の対象人数は年々多くなっている。3地区ごとの開催も考える必要があるのでは。

答 各行政区長からは従来どおりの開催でいいとの意見が多かったため、今年も勤労福祉センターで行う。

待機児童解消の 考えは

考えは

問 現在、保育待機児童は何人か。

対策はどのように考えているか。

答 待機児童は29年4月現在で28人である。

現状としては、さくらんぼこども園の保育士不足や幼稚園利用者の減少がある。総合的に原因をつかんで、対策をとりたい。

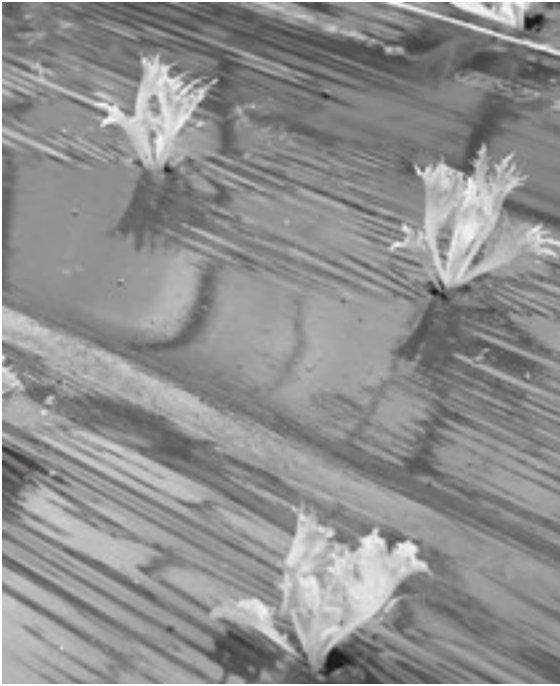
衛生費

トレーニングルーム 管理の徹底を

只野 順委員

問 利用者が増え、健康管理に欠かせない施設であるので、器具の点検や施設の管理を徹底してもらいたい。

答 器具の点検・管理については、リース契約をしているので、業者で対応している。業者と町、公社の3者で、利用者の不便のないように対応していく。



28年度から始まった新たな農産品研究
好評の作物は定着化を

商工費

桜の管理は徹底を

佐々木みさ子委員

問 アメリカシロヒトリの防除は何回行ったのか。桜木の管理は徹底すべきである。職員は限られた予算の中での対応で苦慮しているのでは。

答 防除は1回だけ行った。害虫の発生に留意しながら管理していく。

涌谷駅に観光案内サービスの整備を

問 涌谷駅に観光案内のための看板や、駅周辺の空き家を利用した観光案内所の設置などを検討してはどうか。

答 検討しているところであり、もう少し時間をもらいたい。

土木費

執行率が低いのはなぜか

大友 啓一委員

問 27年度よりも道路維持管理費の執行率が低い理由は。

答 舗装関係の入札などの不調により、年度末までの工期の確保が難しく、次年度繰り越しになった。

また、降雪が少なかったため、除雪費が少なくなったことも一因である。

災害公営住宅家賃しっかりと説明を

杉浦 謙一委員

問 災害公営住宅の家賃は、入居何年後から値上げになるのか。

また、入居時に家賃の説明は行っているのか。

決算質疑

答 災害時低廉化事業については、入居10年目から値上げになる。家賃の説明は入居時に十分に行っている。

消防費

消防団員の費用弁償額の見直しを

問 訓練等に毎回出勤する団員と、仕事などであまり出勤できない団員がいる。不公平感の解消のためにも、報酬を減額し費用弁償を増額しては。

答 団員の確保にも関わることであり、バランスを考えながら検討していく。



町民の安心・安全な生活を守る消防団

教育費

運行は希望に

添うよう配慮を

佐々木敏雄 委員

問 スクールバスの運行は小・中学校別々であるが、希望があれば臨機応変に利用できるような配慮をすべきでは。

答 児童生徒の安全が第一であるが、ひとつの方法として考えていく。

利用者が減少している

理由は

杉浦 謙一 委員

問 奨学資金貸付について、利用者が減少しているが。

答 日本学生支援機構などの、町以外の奨学金を利用しているものと思われる。

決算質疑

学力向上の対策は

鈴木 英雅 委員

問 年1回の学力テストで、宮城県の平均より低い。教育委員会も、もっと現場に出て子どもたちを見てもらいたい。

答 正答率は県の平均を下回っている。今後は、そのように進めていく。

時間外勤務手当の

支給は

佐々木敏雄 委員

問 全く時間外勤務手当が支出されていない幼稚園もある。時間外勤務手当の申告ができないような雰囲気になっているのでは。

管理職には、時間外勤務手当の統一した認識を指導すべきでは。

答 時間外勤務手当は管理職の判断である。統一した認識になるよう指導していく。

町民運動会の

あり方検討を

竹中 弘光 委員

問 子どもたちが減っている中で、参加者を確保できない行政区もある。また、町の行事であることを、スポーツ少年団などにも周知徹底をすべきでは。

答 町民運動会実行委員会、今後のあり方について検討していきたい。学校、スポ少にはなお一層の周知徹底を行う。

水道事業会計決算

簡易水道利用者への

町の対応は

大友 啓一 委員

問 簡易水道を利用しての団体・個人の施設や管路の老朽化、また、維持管理をする人材の高齢化が進んでいるが、町としての今後の対応は。

答 町としては、簡易水道の経営を侵さないようにして、指導、助言をしながらより良い方向になるよう考えていく。



簡易水道の維持管理に町は協力を

国民健康保険病 院事業会計決算

一般会計からの 繰入金について

門田 善則委員

問 病院への出資金は、実質赤字補填である。今後もし一般会計からの繰り入れを考えているのか。事業努力を重ねるべきではないか。

答 財政担当課と相談して決めた。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域づくりを進めていく。当初予算を組む段階で、いろいろと協議した上で予算を組んでいく。

計画未達成の 反省は

反省は

問 病院改革プランの計画を達成できなかったことへの反省は。

答 計画を達成できな

かったことは非常に残念である。
今後は、在宅医療や健診に力を入れ、患者の確保につなげていきたい。

年度ごとに 計画の見直しを

問 改革プランの数値目標が高すぎるのではないかと。年度ごとに数値、計画の見直しを行っては。

答 現場としては高いハードルであると認識しているが、高い理想を掲げて、できるだけ数値目標に沿うように努力をしていきたい。

経営努力を

問 人材の確保も含め、病院経営に更に努力を。

答 職員が愛着を持てる医療センターのあり方を考え、今後も5年、10年と続けていけるよう対応を検討していく。

決算質疑

討論 平成28年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について

賛成 後藤洋一 議員

一般会計の歳入において、今後も国の動向を注視し、財政運営の健全化に向けた町独自の努力が求められる。
町民税の動向を見ると、個人町民税で、米価の回復と経済政策の恩恵を受け始めて、個人所得が伸びている。我が町の基幹産業である農業については、生産基盤の強化策が安定した農業所得の向上につながってきていると捉え賛成とする。

反対 只野順 議員

28年度病院事業会計は、25年度からの病院新改革プランの収支計画数値と決算で純損益において未達成である。当初より、収支計画の数値は高く、教育厚生常任委員会においても、見直しの提言をしているが、プランに近づける努力と改革は進んでいない。病院事業会計がそのままでは危機感が高まり、反対と言わざるをえない。

反対 門田善則 議員

一般会計については多分に可としているところである。
しかし、国保病院事業会計については、これまでの指摘が全く反映されておらず、賛成できるものではない。センター長は、町民に負担をかけない改善策を講じることに努力してもらいたい。

9月会議採決状況 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	大友啓一	只野順	後藤洋一	久勉	杉浦謙一	門田善則	大泉治	鈴木英雅	遠藤积雄
平成28年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議長

議案・補正予算関係

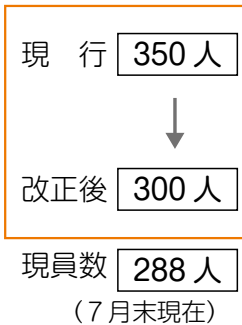
消防団員に係る負担金削減のための定数改正は理解するが、引き続き団員確保のために努力を

議案

議案第53号

涌谷町消防団条例の一部を改正する条例

(社会情勢と消防団を取り巻く環境の変化などによって、今後も団員数の大幅な増員が見込まないことから、定員数を350人から300人に改正するもの。)



問 町の人口は減少しているも、世帯数は増えている。火災が起こる可能性は増加していると考えられるが、町民の安心安全は守られるのか。

答 常備消防の整備は進んでおり、現在の団員数でも業務に支障は来していない。

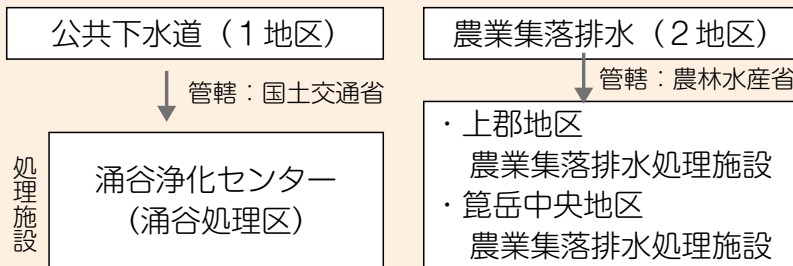
ただ、団員数が少ない班もあり、そういったところは重点的に補充していきたいと考えている。

議案第49号

涌谷町下水道事業の設置に関する条例

(平成30年4月1日から公共下水道事業と農業集落排水事業について、地方公営企業法の一部適用を行うに当たり、新たな条例の制定を行うもの。)

涌谷町の下水道事業について



宮城県が9月1日に発表した「汚水処理人口普及率」(3月末現在)によると、県全体で90.5%と初めて90%台を突破したのに対し、涌谷町は64.1%に留まっている。この数値は県内ワースト3位であり、高齢者世帯の増加や、多額の初期投資がかかることなどを理由に、水洗化が進んでいない現状である。

企業会計移行後も、会計の健全化のため、対象世帯の加入促進に更に努力をしてもらいたい。



天平ろまん館でマンホールカード配付中

同意第16号

教育委員会委員の任命について

(教育委員会委員 櫻井信氏の任期が9月末で満了となる。引き続き任命したいので、議会の同意を求めるもの。)

賛成全員で同意

平成29年度一般会計 補正予算質疑

人事配置を

適正に

問 教育総務課は中学生海外派遣事業で残業が多くなったことに加え、マンパワー不足で業務に支障を来しているのではないか。

答 事業の実施時期が早くなったことで準備期間が短くなり、残業で対応した。業務の見直し、あり方を検討していく。

健康パークの

ベンチ修繕

問 ベンチの補修は4台すべて新しくできなかつたのか。全体を考えて橋も一緒に直せなかつたのか。

答 使用頻度を考えて2台とした。健康パーク全体については、上司と相談の上、検討をする。

日本遺産の認定に 向けて考えは

問 日本遺産に選ばれなかつた反省や、今後、選ばれるための具体的な方策はあるのか。

答 日本遺産認定の一番の目的は地域の活性化にある。町の歴史のしっかりとした位置づけや、観光の振興につなげる取り組みをしていく。

町営住宅の 修繕料について

問 町営住宅のリフォームは入居の申込を受けてから実施するのか。修繕料200万円は何棟分の予算なのか。

答 リフォームは退去の際に随時行っている。今回の修繕料は4棟で200万円であり、1棟約50万円を考えている。

事業の実施時期と 予算計上について

問 当初予算では、食の町民まつりは行わないとのことだったが、今年度も開催することになった経緯は。

答 7月14日の活性化実行委員会第10回を区切りにすることに決めた。来年以降は、産業祭と一緒に開催する方向で考えられている。

事業の予算は 適切に活用を

問 多面的機能支払交付金であるが、使い残したものは返還するのが当たり前であるが、次年度枠に影響はないか。残額の出ないよう指導すべきではないか。

答 計画的に補助金を申請しており、次年度枠に影響はない。今回は事業の関係で返還せざるを得なくなつたが、今後とも指導を徹底していく。

涌谷ブランドの 確立を

問 特定の業者を通せば、他町でも「金のいぶき」の商品名で販売できる。涌谷町のブランド米として、ネーミングも含め、独自販路線の検討を。

答 宮城県も、「金のいぶき」の名称で販売を検討している。限定栽培マニュアルによる、涌谷町の「金のいぶき」として販売していきたい。

町民のための 図書室を

問 利用者から親しまれ、利便性のいい図書室であることを望むが。

答 図書室再開委員会から意見・意向を聴き、6つの機能を取り入れた図書室を考えている。

図書室に 学習スペースの確保を

問 子どもたちが利用できる学習スペースを設ける考えはあるのか。

答 現時点で考えはないが、今後検討する。



『金のいぶき』は11月から販売予定

※6つの機能

- ①読書する場
- ②学習する場
- ③情報収集する場
- ④町民の心の居場所となる場
- ⑤町の文化・歴史を知る場
- ⑥その他目的を達成する場

補正予算

ズバリ

9月会議では、9月5日、6日に一般質問が行われ、7人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。
(URL <http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



一般質問

佐々木 敏雄 議員 (13 ページ)

- 1 メンタル的不調職員への対応は
- 2 管理職手当の見直しをすべきでは

只野 順 議員 (14 ページ)

- 1 再生可能エネルギーの普及で町の創生を
- 2 職員の健康管理の徹底について

竹中 弘光 議員 (15 ページ)

- 1 高齢交通弱者に対する支援策を

久 勉 議員 (16 ページ)

- 1 大震災の被災者のその後の生活はどうなってるか
- 2 涌谷の町の中心部の再構築について

杉浦 謙一 議員 (17 ページ)

- 1 放射性廃棄物の試験混焼について問う
- 2 国民健康保険の都道府県化についての対応は

稲葉 定 議員 (18 ページ)

- 1 涌谷町の農業政策について問う

鈴木 英雅 議員 (19 ページ)

- 1 均衡のとれたまちづくりについて

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

町政をただす



佐々木敏雄 議員

一般質問

問 組織的な原因究明と対策を

答 相談しやすい環境づくりに努める



個人の問題にするのではなく組織で対策を

問 メンタル的不調職員が倍近く増え非常事態である。要因は機能的、組織的であると思う。早急に原因を究明し対策を講ずるべきである。

町長 業務量増加や職場環境などの要因による心身の疾病で、病気休暇を取る職員が増加している。本人、周囲の人の気づきが必要と感じている。関係者と連携を図りながら、相談しやすい環境づくりなど、メンタルヘルス対策に努めていく。

問 監査委員からの「対応にはいささかならず疑問」との指摘にどう対処するか。

町長 真摯に受け止め改善に努める。

問 不調職員の容態や要因の把握と的確な治療のため、該当職員宅の家庭訪問や長期休暇者には日誌などの報告書を提出させるべきでは。

総務課長 主治医の意見を尊重しながら職員の症状に応じて対応していきたい。

問 管理職手当の半額支給の目的は何か

答 町の財政負担を見越した措置である

問 管理されている職員が管理している職員より手当が多く支給されている職員もいる。職務の特殊性であるならば、その職、そのポストに対する相応の額を支給すべきだ。

町長 国における手当額を基本として、責任と処遇の一致する手当となるよう見直しを行っていく。

町長 国における手当額を基本として、責任と処遇の一致する手当となるよう見直しを行っていく。

問 管理職手当を半額支給にした目的は何か。

町長 町の財政負担を見越した措置である。

問 手当の半額支給に当たって、職員に

対し説明と合意は取り付けたのか。

総務課長 国の基準を以て規定し、財政効果が上げられたと評価している。説明と周知をしっかりとしていきたい。

問 減額の期間はいつまでなのか。

総務課長 できるだけ早い時期に全額を支給できるよう改正したい。

問 職員が協力した負担額を公表すべきでは。

総務課長 今後、検討していきたい。



只野 順 議員

問 太陽光発電で町税の増収を

答 跡地での事業は、その時点で検討する

一般質問

問 これまでの太陽光発電の普及状況と町税の関係は。

町長 29年7月末現在で65箇所の施設が稼働しており、固定資産税は年間2540万円で、町税収入が伸びている。

問 町有地(旧小里、旧箕岳小学校の校庭に)太陽光パネルを設置して、有効活用をすべきである。また、町有地山林部分に、太陽光発電の積極的誘致を行うてはどうか。耕作放棄地へ太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの活用で涌谷町を発電産地としては。

町長 現段階では、跡地については売却の方向で考えている。関連業者が校庭で事業をしたいと町に来た場合は、その時点で検討をする。また、町有地山林・耕作放棄地での活用については、町としての推進は考えていない。

問 黄金山工業団地にパネル処理の研究所を誘致しては。

町長 製造業の誘致を第一に考えている。太陽光パネルの期待できる寿命は20年相当と言われており、未だ研究途中であることから、研究所であれば誘致の選択肢の一つと考えている。



町内でも太陽光パネルは年々増加中

問 職員の健康管理を徹底せよ

答 職場環境の改善を検討する

問 長期にわたる休職者への対応や、管理職などの優秀な人材で職場の気概と向上心をリードすべき職員が休んでいる現状では、住民サービスの面からマイナスとなる。人事異動を含め早急に改善をすべきである。

町長 メンタル不調を訴える職員は増加傾向にある。病気の完治が一番であり、復職しやすい環境づくりに努める。業務量・環境面・人間関係など様々な原因があるので、人事異動も一つの改善策と考える。業務の配分や職場環境の改善策も検討する。





高齢者や免許証返納者が、安心して外出できる町に

問 町民バスの運行路線を見直し、現在の路線の何らかを、下町地区及び八雲地区を通し、小牛田駅東口まで延長できないか。高齢者に無料券を配布し、町民バスの利便性を知ってもらうには。

町長 町民の要望や利便性に心えるため、運賃の半額制度の導入及び箕岳山線の新設などを行ってきた。本年度は、町民バス運行業務委託契約の更新時期になるので、住民の利便性を考慮し協議する。無料券の配布については、他市町村を調査し、別の方法も含め検討する。

問 免許証返納者に対する助成の考えは。

町長 免許証返納者だけでなく、高齢者全体の生活の足の確保対策に努めたい。

問 目的地を限定した、デマンドタクシー（乗合タクシー）を設置できないか。

町長 停車地の到着時刻が変化することや利用に際して事前予約が必要で、利用者にとって抵抗感があるなどの不便さが指摘されている。また、当町は、タクシー業者が一社であることや、利用者負担の問題、システム導入費用及び運行経費などの財政負担もあるため、より慎重に検討する必要がある。今後、検討を行っていくが、当面は既存路線バスの運行改善を重ね、利便性の向上を図っていくことを考えている。



問 高齢者の交通手段の確保を

答 町民バスの利便性の向上を図っていく



竹中弘光 議員



久 勉 議員

一般質問

問 東日本大震災から6年が経過した。

全壊、大規模半壊、半壊で解体された方が合計328世帯と日常生活を奪われた方々が多数いた。

震災前と異なった生活を余儀なくされた方々に対し、町として、今後どのような支援をしていくのか。

町長 328世帯の方々のうち、約9割の世帯が何らかの形で生活基盤の再建をしている。それ以外の56世帯のうち、41世帯については今後補修等を行うかどうか、検討中である。その41世帯については、調査を行い対策を考えていく。

問 地域の実態を把握できていないのは残念である。早急に把握を。

福祉課長 今後引き続き確認の調査をしていく。

問 将来の町のあるべき姿を示せ

答 実態を調査し、計画の見直しを行う

問 大震災で被害を被り、更地となっている町の中心部は、今のままで良いのか。

都市計画の見直しを行い、5年後10年後の町のあるべき姿を町民に示すべきと考えるが。

町長 涌谷町の都市計画の方針を示す都市マスタープランは、平成10年3月に策定され、約20年が経過しており、見直しの時期となっている。

見直しに当たっては、県が平成30年度に告示する大崎広域都市計画マスタープランと、農林振興課が今年度に作業を進めている「農業振興地域整備計画」等と整合性を図り、町民の皆さんのご意見を聴きながら進めていく。

問 都市マスタープランは震災前のものである。現在に見合ったものに変更すべきである。

また総合計画の前期計画では国土利用計画を策定することになっていく。県の計画を待つのではなく町独自の考えを関係機関へ建議すべきである。

町長 早速実態を調査し、計画の見直しを行う。



5年後、10年後のまちの姿は？

問 大震災の被災者のその後の支援策は

答 再建方針が決まらない世帯については、調査を行い対策を考える

問 国保運営の都道府県化 住民への周知は

答 広報などで周知する

問 来年度から国保の運営主体が宮城県に移行する。県が定める算定方式のもとに市町村が保険税を決定して徴収、資格管理などを担うことになるが、住民への周知はどのように行うのか。

町長 県が示している今後のスケジュールは9月に第3回納付金、標準保険料率試算を行い、来年1月に通知、公表を予定している。具体的な情報が入りしだい、広報等を通じて周知する。

問 負担軽減のためにも、財政調整基金や保険者支援制度を利用して、保険税引き下げや減免制度を行う考えは。

町長 都道府県化により、税額が現在の水準以上になることが予想される。保険税の激変緩和措置では国、県で補えない場合などは町の基金の活用も検討し、被保険者の負担が大きくなり、減免制度は具体的な金額が示された後、導入も含め判断する。



一般質問

問 放射性廃棄物の試験焼却のモニタリングについて、今後の設置計画は。

町長 今年度中に試験混焼が実施されることから、大崎東部クリーンセンターを中心に近隣市町村と調整を図り、クリーンセンター内を含めモニタリングポストを4カ所に設置する準備を進めている。

町長 試験焼却に向けて大崎市でも住民説明会を開催しており、当町でも圏域内の試験焼却に向け、住民に理解されるような説明を行いながら廃棄物処理を促進していく。

問 大崎市二本木の最終処分場周辺では反対運動があり、大日向地域の2つの行政区との覚書がある。

放射能をおびた焼却灰を搬入することはとても困難である。このような状況の中で町民に対しての周知はどうするのか。

町長 試験焼却に向けて大崎市でも住民説明会を開催しており、当町でも圏域内の試験焼却に向け、住民に理解されるような説明を行いながら廃棄物処理を促進していく。

町長 試験焼却に向けて大崎市でも住民説明会を開催しており、当町でも圏域内の試験焼却に向け、住民に理解されるような説明を行いながら廃棄物処理を促進していく。



大崎東部クリーンセンターでも試験混焼を実施予定

問 放射性廃棄物の試験混焼 説明会で住民へ周知を

答 住民への説明を行いながら
処理を促進していく



杉浦謙一 議員



稲葉 定 議員

一般質問

問 農業政策を聴く

答 農業振興に努める

問 稲作において『金のいぶき』はどのような位置づけで栽培指導をしていくのか。ひとめぼれ、ササニシキはどの程度に作付けを望むのか。またササニシキの復権をうたうが、栽培指導はどうするのか。

町長 玄米専用種の金のいぶきを涌谷地域の新しいブランド米として位置づけ、JAみどりの稲作部会と協力して取り組む。今後もPRをして町内外に情報を発信していく。

問 畜産農家が減少している現状をどうするのか。和牛改良のさらなる加速を目指し、人工授精への助成などをすべきではないか。

町長 これまでも様々な対策を講じて来たが、若手農家などのネットワークに期待をし、今後も畜産農家の声を聞いて、さらに対策を講じていく。血統改良が遅れてきたのは、肥育農家が少ないのも原因だと思うので、その対策を研究していく。

問 園芸農家への新たな特産物に取り組みための指導、支援の考えはないのか。

町長 その地区に適切な作物や生産体系を模索しながら、関係団体と協力し、新たな作物を探索していく。支援については、ある程度の規模にならないと、町民の方々に理解してもらえないと考えている。



農畜産業の振興は、町土を守り、町の将来につながる



もっと利用される籠岳公民館に

問 町内三地区の特性を活かし、均衡の取れたまちづくりを今こそ推し進めるべきと思うが、その考えは。

町長

第三次涌谷町国土利用計画において、三地区の概要などを定めており、今後、更に町の一体感の醸成を促し、地域間の連携や交流を深め、地域の特性を活かしたまちづくりを進めることが必要であると考えます。

問

三地区ごとの取り組みの考えは。

町長

西地区では、良好な農地の保全に配慮し、居住並びに商業及び流通業務地として適切な利用を図るとともに、中心市街地としての活性化を図り、賑わいのあるまちづくりを進める。

東地区においては黄金山工業団地の活用、歴史的文化財などの保全、観光資源としての活用で交

流人口を増やすまちづくりを進める。

籠岳地区は里山的景観の保全と農産物の活性化を図ること、籠岳山を中心とした信仰と史跡に配慮し、健康づくりや余暇活動に対応できる保健休養、観光、交流活動などの総合的な機能を有する拠点として、人と自然が共生するまちづくりを推進する。

問

籠岳地区の中心であり住民の拠り所である籠岳公民館の活力があまりにも失われている。役場機能を有する公民館に改善するよう強く望むが。

町長

利用する方々が使いやすい公民館にするよう、しっかりと取り組み対応する。

問

均衡のとれたまちづくりを

答

三地区の特性を活かして進める



鈴木英雅 議員

議員発議

国民健康保険の安定的な運営のため、十分な財政措置の検討を

宮城県国民健康保険運営方針案に関する意見書（賛成全員で可決）

意見書・前文要約

国が示した平成30年度からの国民健康保険の都道府県化にともない、宮城県でも制度設計の検討が進められている。本年4月に示された運営方針案では、保険料（税）統一や市町村の一般会計からの法定外繰り入れ解消などの方向性が示された。

涌谷町議会は、宮城県に対し、下記の事項を実施するよう強く求める。

1 宮城県は、事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。

2 平成30年度以降も現在以上に保険料（税）を上げないこと。

3 各市町村は、被保険者の負担軽減のためやむなく一般会計からの繰り入れを実施してきた。今後は、財政的責任の主体となる宮城県において、

県民の影響を勘案し、一般会計法定外繰り入れ、保険料（税）決定など、市町村における独自の権限を侵害しないこと。

4 国に対し、負担感が強い保険料（税）の是正、国民健康保険の安定的な運営のため、十分な財政措置を検討するよう求めること。

平成29年9月12日

提出先

宮城県知事

皆さんの請願・陳情

平成29年陳情第8号

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

提出者

全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳

要旨

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要なた財源に充てるため、森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

審査の結果

配付となりました。

第10回県北地方町議会議員研修会が開催されました

10月6日（金）に、県北地方町議会議長会主催による第10回県北地方町議会議員研修会が町民医療福祉センター研修ホールを会場に開催されました。

県北地方町議会議長会は、県北6町（涌谷町、美里町、加美町、色麻町、女川町、南三陸町）の町議会議長によって構成されており、本研修会は県北地方の振興発展のため、行政課題の共通理解を図るとともに、研修事業を通じて議員相互の交流を深め、議員活動の活性化に資することを目的としています。

研修会では、ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子 氏から『人口減少問題と地方議会の役割について』と題して講演が行われました。

関氏は、これからの自治体には、地域のことは地域で考え実行する、ローカルファーストの考え方が必要であり、議会は急激に変化する社会や制度に対応し、新しい政策提案をしたり、自治体や市民とともに変革を成し遂げるために自らも動かなければならないと講話されました。



今年度は涌谷、来年度は南三陸町で開催

追跡

あの話はどうなった？

これまでに議員が行った一般質問に、町がどう答え、どう対応したのかを検証します。

追
跡

26年9月会議

質問

子育てハンドブック

必要性は

子育て支援のためにも
子育てハンドブックは必
要ではないか。

回答

「暮らしのガイド」、
ホームページなどを活用
した情報提供の充実を
図っていく。

現状

子育て世帯を支援する
ため、子育て支援ガイド
ブックを29年12月末に発
行予定。



子育て関連情報が満載です

27年6月会議

質問

全幼稚園で完全給食

実施を

一部の施設で給食を実
施している状況は不公平
である。全幼稚園で給食
を実施できないか。

回答

給食、お弁当それぞれ
にメリットがある。

現状

30年度から幼稚園サー
ビスの拡充を行い、全幼
稚園で昼食の提供や、預
かり保育の拡充を実施す
る予定。



28年3月会議

質問

防災ラジオの普及

促進を

災害時に避難情報を確
実に伝えるため、防災ラ
ジオの普及を促進しては
どうか。

回答

防災行政無線やエリア
メールなどを活用し、そ
の活用方法の浸透に取り
組んでいく。

現状

平成29年6月から大崎
エフエム放送の公式ス
マートフォンアプリを活
用して、災害情報・緊急
情報などの提供を開始
(詳細は広報わくや6月
号を参照)。



28年3月会議

質問

八雲児童館の今後は

建物の老朽化や、狹隘
な園庭の八雲児童館は子
どもたちにとって良い環
境とは言えない。

回答

町全体の放課後学童ク
ラブと、児童館も含めた
施設の確保について、検
討していく。

現状

放課後学童クラブは、
29年4月から小学4年生
まで対象を拡大した。
八雲児童館の建て替え
については、財源の確保
策、時期も含め検討中。



先進地に学ぶ



視察研修レポート

～よりよい町づくりのために～

総務産業建設常任委員会

8/3 8/4

鳥取県智頭町

- ①住民と共に取り組むまちづくりについて
- ②地域資源を活用したまちづくりについて

智頭町においては、平成9年に「日本1/0（ゼロ分のイチ）村おこし運動」がスタートし、地区の課題を地区住民の知恵と汗で解決するため、自らの責任によりボランティアで活動している。平成20年には「智頭町百人委員会」がスタートし、町全体の課題に対する自主的な活動を行っている。政策を提言し、認められた場合、予算折衝まで行っている。



岡山県奈義町

- ①定住・移住促進の居住環境整備について
- ②雇用機会の確保と地域活性化としての企業誘致について

奈義町においては、人口6千人を維持し、町の活力と産業の力を保つために、若い世代のための居住環境の整備を行い、安定雇用と地域活性化のための企業誘致を推進している。「奈義町子育て応援宣言」を行い、地域みんなで子育て支援をするなど出産、医療、教育についても切れ目なく行っている。

在宅育児支援手当交付などにより、家庭で3歳ぐらいまで子育てをする世帯が、少しずつではあるが増えてきている。

人口減少に新たな施策を打ち続け、どのように対応しているかを知ることができ、参考になった。

広報広聴常任委員会広報分科会

7/4

町村議会広報クリニック

議会だよりわくやの印象

- ①施政方針への質問、予算審議、討論と情報を追いやす構成になっている。
- ②施政方針と総括質問、質疑との関係がより明確にわかると理解しやすい。
- ③予算審査と議案審議のページが、同じような内容に見えてしまう。
- ④「追跡」の経過説明をより視覚的に表現すると、読む人が増えるはず。
- ⑤定例会以外の情報をさらに充実させる努力をすべきである。

クリニックを受けて

広報紙について、写真の構成、レイアウト、文章などについて、具体的に指摘や工夫の提案などをされ、よく理解することができた。議会だよりわくや189号については、コンテンツ（情報内容）が充実しているとの評価であった。指摘された部分は、今後の紙面づくりの参考にしていきたい。



涌谷町議会

議会のこと

皆さんの意見

知ってください!

議会懇談会

聴かせてください!

目的

議会は町民の方々への説明責任を果たし、町政のさまざまな課題に柔軟に対応するため、皆さんの地域で、議会で議論された内容を説明いたします。

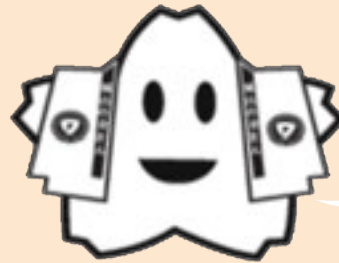
そして、議会活動や、町政に対する意見・要望・提言などをお聴きし、町民の皆さんと自由に情報交換や意見交換ができる場として、議会懇談会を下記のとおり開催いたします。

報告事項

平成28年度決算概要、審議内容

意見交換内容

「今後の涌谷町～どんな町にしたいですか？」
～夢を語ろう～



城山の金さん

涌谷町公式観光 PR キャラクター

皆様のご意見を反映し、**日曜日**に開催いたします。ぜひお越しください。

開催場所と日時

開催日はいずれの会場も **11月5日(日)** です。

西地区

1班 竹中 弘光 議員
稲葉 定 議員
後藤 洋一 議員
門田 善則 議員
遠藤 积雄 議長 (巡回)

午前10時から

●桜町公会堂(字裏桜町)

午後1時30分から

●やすらぎ荘(字新町裏)

箕岳地区

2班 佐々木敏雄 議員
大友 啓一 議員
久 勉 議員
大泉 治 議員
遠藤 积雄 議長 (巡回)

午前10時から

●長根会館(小里字長根南)

午後1時30分から

●短台集落センター
(猪岡短台字元桑畑)

東地区

3班 佐々木みさ子 議員
只野 順 議員
杉浦 謙一 議員
鈴木 英雅 議員
遠藤 积雄 議長 (巡回)

午前10時から

●滝の沢生活センター

(小塚字滝の沢二)

午後1時30分から

●上町公会堂(涌谷字上町)

お近くの会場にお越しくださいますようお願いいたします。お越しの際には、**11月1日(水)発行の『議会だより』**をお持ちください。

主催：涌谷町議会

【問い合わせ先】 涌谷町議会事務局 電話：0229-43-2127

議会に皆様のご意見をお寄せください。

キラキラVoice

vol. 2



佐々木弘美さん
(黄金地区)

Q あなたのことを教えてください。

A 主人と野菜作りをし、その野菜を使って漬物を作っています。いわゆる六次産業です。

旬の野菜で作った漬物を、直売所やスーパーなどに出荷しています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 議会で議論されたことをその場で終わらせるのではなく、できることからスピーディーに解決してほしいと思います。

議会だよりで町民の皆さんに議会の内容を知ってもらうことは、とても重要だと思います。

Q 涌谷町をどう思う町にしたいですか。

A 涌谷町の良いところをもっともっとアピールして、町外からも多くの方に来てもらえる町へになりたいです。

施設と場所があるので、もう少し充実させるともっと楽しい町になると思います。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

12月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配付の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127

一般質問を 動画配信 しています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。



<http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

編集ろまん

わくや だより

田んぼの色も黄金色から茶色に変わり、段々と寒さを感じ始め、来年の足跡が聞こえるような季節となりました。

今年も、世界中でいろいろな災害のニュースがあり、自然の猛威には逆らえませんが、せめて、人為的な災害だけは起きないよう願うばかりの日々です。

一年の移り変わりの早さを感じるのは、私だけでしょうか。

(竹中)

発行人 涌谷町議会議長

遠藤 积雄

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長 只野 順

副分科会長 竹中 弘光

委員 鈴木 英雅

委員 稲葉 定

委員 佐々木 みさ子

委員 佐々木 敏雄